提出案件は報告を含め26件、条例の制定に関するもの4件、指定管理者に関するもの1件、令和7年度一般会計、特別会計及び企業会計に関するもの6件、水道事業会計及び下水道会計の未処分利益剰余金の処分に関するもの2件、令和8年度一般会計、特別会計等の補正予算の議定に関するもの5件、工事請負契約に関するもの1件、町道の廃止に関するもの1件、人事案件に関するもの1件、すべて可決、承認、同意されました。また、請願が2件、意見書2件、議員提案条例1件が提出され採択されました。

鳥獣被害対策

問：鳥獣被害対策実施隊員報酬が19万円から23万円に増額されているが、その理由は何か。

答：実施隊員が2人増のため、年額支払い分が増加した。

問：アライグマ回収・処分業務委託料の337万円だが、業務単価、地域別捕獲量と講習会の参加人数を伺う。

答：回収・処分・廃棄・わな洗浄等の業務で1頭あたり1万4300円、死亡していた場合、回収・廃棄・わな洗浄等の業務は7700円となっている。捕獲地区は赤沼（68頭）、石坂（43頭）、泉井(25頭)、下熊井（25頭）の合計で161頭。全町内合計で223頭。
令和7年度の講習会へ町から7人が参加している。



討論（一般会計決算）

【賛成討論】

経常収支比率92.1%⇒90.5%へ、町債残高は約57億円⇒約53億円へ改善され、実質公債費比率・将来負担比率も減少できた。

限られた財源で事業の選択と集中を進め、持続可能な財政運営を行っており、将来世代への負担軽減という観点からも評価できる。（日坂）

令和7年度 特別会計 決算 審議

国民健康保険特別会計

問：国民健康保険税の収入未済額が3900万円とかなり大きい金額であるが、町としての改善策はいかがか。

答：税務会計課の収税担当正職員2人、会計年度任用職員1人の3人体制と限られたマンパワーで、適正な滞納処分等の実施により滞納額の縮減に努め、早期の財産調査及び差押えなどによる滞納処分の強化を図っている。

介護保険特別会計

問：介護保険特別会計の配食サービス事業委託料57万円だが、前年度64万円と比べて、減少の理由は何か。

答：利用者の都合による配食のキャンセルが多かったこと、それから利用者が施設へ入所したため、配食サービスの必要がなくなり、利用しなくなったことなどにより減少した。



■審議結果については8ページをご参照ください。

令和8年9月1日～11日

9月議会（第3回定例会）報告

令和7年度 一般会計 決算 審議

財政調整基金

問：財政調整基金の活用する事業が多く見込まれる中、適正な残高はどの程度を目標としているのか。

答：令和6年策定の財政運営基本方針で、令和11年度決算時に標準財政規模に対する財政調整基金残高の割合を15%以上確保することを目標とし、令和7年度決算の残高は約8億2957万円で、15%を上回る19.9%確保している状況。

固定資産税

問：固定資産税の収入未済額が1969万円、不納欠損額が368万円と金額が大きいが、改善策はいかがか。

答：滞納の発生の早期から財産調査、各種債券、動産・不動産などの調査を実施して、滞納者の実態把握に努めて、預金調査、預金差押えの電子化サービスを活用して、早期の財産調査及び差押えなどによる滞納処分の強化を図っている。

住宅等防犯事業

問：住宅等防犯対策事業が2事業で350万円となっている。補助金申請の多かったものは何か。

答：補助金対象品目では、防犯カメラ、モニターつきインターホン、人感センサーライトが多かった。

老朽空き家等除去費

問：老朽空き家の除去の補助金申請により、予算を使い切ったようだが、申請数がオーバーして補助金をもらえない申請者がいたのか。

答：当初の予算では4軒分であったが、申請が6軒あり、補正予算で100万円追加し、申請者全員に補助金を渡すことができた。



産後ケア事業

問：産後ケア事業業務委託料19万円で、前年度比4倍増だが、利用者の増えた要因は何か。

答：広報や子ども家庭センター等による案内を通じて、事業の周知が進み、産後のお母さんのニーズに合わせた多様なケアサービスが、実際に広く活用されたことが主な要因と考えている。



放課後児童健全育成事業

問：放課後児童健全育成事業業務委託料の8100万円に関してだが、おしゃもじ山クラブの児童数はどうだったのか、また適切な保育環境であったのか伺う。

答：令和7年度の在籍児童数は延べ970人、月平均81人となっている。夏休み期間中の保育環境が課題であったが、事前に利用数を確認し、必要な指導員を配置した。